

記者発表資料



令和4年3月31日
 鳴瀬川等流域治水協議会
 北上川下流等流域治水協議会

あらゆる関係者による流域治水の更なる推進・実践のため、鳴瀬川水系、北上川水系において「流域治水プロジェクト」を更新しました。

(鳴瀬川水系) ~都市農村交流により支え合い、開発とバランスの取れた流出抑制と更なる治水対策の充実~
 (北上川水系) ~東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進~

- 令和元年東日本台風での阿武隈川（福島県）・吉田川（宮城県）、令和2年7月豪雨での最上川（山形県）での災害をはじめ、昨今の豪雨災害の激甚化・頻発化を受け、流域を俯瞰し、あらゆる関係者（国・都道府県・市町村等）が協働して取り組む治水対策「流域治水」への転換が重要であるとの認識に基づき、各流域治水協議会での議論を通じて、流域全体で実施すべき対策の全体像を「流域治水プロジェクト」としてとりまとめ、令和3年3月に公表いたしました。
- 今回、グリーンインフラの取り組みや水災害リスク情報、指標を用いた取り組み状況を加えるなどプロジェクトの更なる充実を図りましたので、プロジェクトを更新・公表いたします。
- 「流域治水プロジェクト」では、国、県、市町村等が連携し、河道掘削、堤防整備等を着実に実施していく他、農業施設や雪対策と連携した流出抑制、内水被害軽減などの対策を組み合わせた流域治水を引き続き、進めて参ります。

【添付】別紙1（鳴瀬川水系流域治水プロジェクト）

別紙2（北上川水系流域治水プロジェクト）

当該各流域治水プロジェクト内容の詳細は下記のURLよりご覧下さい。

<http://www.thr.mlit.go.jp/karyuu/project/index.html>

<発表記者会>

石巻記者クラブ、古川記者クラブ、宮城県政記者会、東北電力記者会、東北専門記者会

問合せ先

【鳴瀬川等流域治水協議会 事務局】【北上川下流等流域治水協議会 事務局】



国土交通省 北上川下流河川事務所
 〒986-0861 宮城県石巻市蛇田字新下沼80
 電話：0225-95-0194（代表）

技術副所長 高田 浩穂（内線205）《全般・ソフト施策》
 建設専門官 鈴木 雄次（内線505）《 》
 技術副所長 小嶋 光博（内線204）《ハード対策》



宮城県 土木部 河川課
 〒980-8570 宮城県仙台市青葉区本町3丁目8番1号
 電話：022-211-3176（代表）

技術副参事兼総括課長補佐 細川 辰典（内線3176）

別紙1（鳴瀬川水系流域治水プロジェクト）

鳴瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～都市農村交流により支え合い、開発とバランスの取れた流出抑制と更なる治水対策の充実～

○ 令和元年東日本台風で甚大な被害が発生した鳴瀬川水系では、吉田川・新たな水害に強いまちづくりプロジェクトに加え、以下の取組を実施していくことで、国管理河川においては、昭和22年9月カスリン台風（鳴瀬川：戦後最大）と同規模の洪水に対して安全に流下させ、令和元年東日本台風洪水（吉田川：戦後最大）と同規模の洪水に対しては堤防からの越水を回避し、流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図

宮城県

鳴瀬川総合開発 位置図

鳴瀬川ダム (建設中)
漆沢ダム (洪水調節専用化)

凡例

- 堤防整備
- 河道掘削
- 浸水想定区域(鳴瀬川:昭和22年9月洪水と同規模)(吉田川:平成27年9月洪水と同規模)
- 実績浸水範囲(令和元年東日本台風)
- 大臣管理区間

■ 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

○ 氾濫域での対策

- 市町村庁舎等防災拠点の機能確保
- 簡易型河川監視カメラの設置
- 災害リスクの現地表示箇所の拡大を促進
- ダム堰の効果・操作に関わる情報の周知
- マイ・タイムライン普及促進
- 要配慮者施設避難計画促進
- 水防資機材の拡充 等
- 水害リスク空白域の解消

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ 被害対象を減少させるための対策

○ 氾濫域での対策

- 適正な土地利用の規制誘導
- 二線堤の整備
- 土地利用・住まい方の工夫(浸水被害軽減の宅地嵩上げ支援等)

※今後、関係機関と連携し対策検討

■ 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

○ 河川区域での対策

- 河道掘削、堤防整備、遊水地整備、鳴瀬川ダム建設、漆沢ダム治水専用化 等

○ 集水域での対策

- 利水ダム等8ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
- 排水機場の増設、能力強化、耐水化
- 下水道整備(雨水調整池、幹線整備) 等
- 水田貯留、森林整備、治山対策 等
- 流出抑制対策検討 ※今後、関係機関と連携し対策検討

遊水地整備

善川遊水地
竹林川遊水地

仙台圏に近い山地農村エリアでは開発が進み、都市と農村が連携し、バランスの取れたまちづくりが求められている。(大郷町)

水田貯留 実証実験

市街地

二線堤の整備

■ 被害対象を減少させるための対策

○ 氾濫域での対策

- 適正な土地利用の規制誘導
- 二線堤の整備
- 土地利用・住まい方の工夫(浸水被害軽減の宅地嵩上げ支援等)

※今後、関係機関と連携し対策検討

※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。

居住誘導区域内における浸水被害軽減の宅地嵩上げ支援

■ グリーンインフラの取り組み

詳細次ページ

マイタイムラインの普及促進

災害リスクの現地標示

※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。
※水位をさらに下げて安全に流下させるための検討を実施していく。

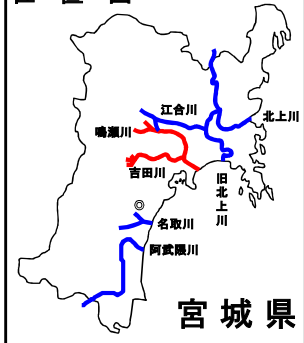
鳴瀬川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～都市農村交流により支え合い開発とバランスの取れた流出抑制と更なる治水対策の充実～

●グリーンインフラの取り組み 『日本有数のハクチョウ・マガンの集団越冬に必要な良好な自然環境の保全』

- 古くから水稻栽培が盛んで、藩政時代には米を輸送するための舟運が発達するなど鳴瀬川水系を中心として文化が形成された地域であるとともに、また、優れた自然環境を有しており、国内有数のハクチョウ・マガンの集団越冬地となっている。
- 湿地環境が形成される河道掘削を行い、国内有数のハクチョウ・マガンの良好な環境を保全するとともに、集団餌場としても利用される遊水地との連続性を確保するなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を推進する。

位置図



【全域に係わる取組】

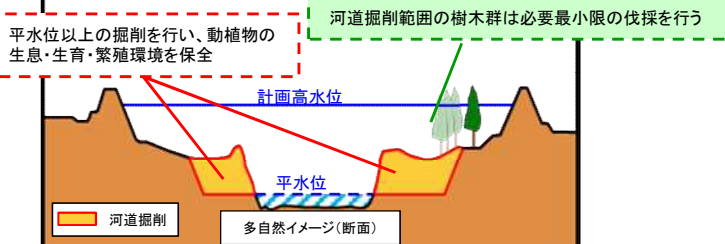
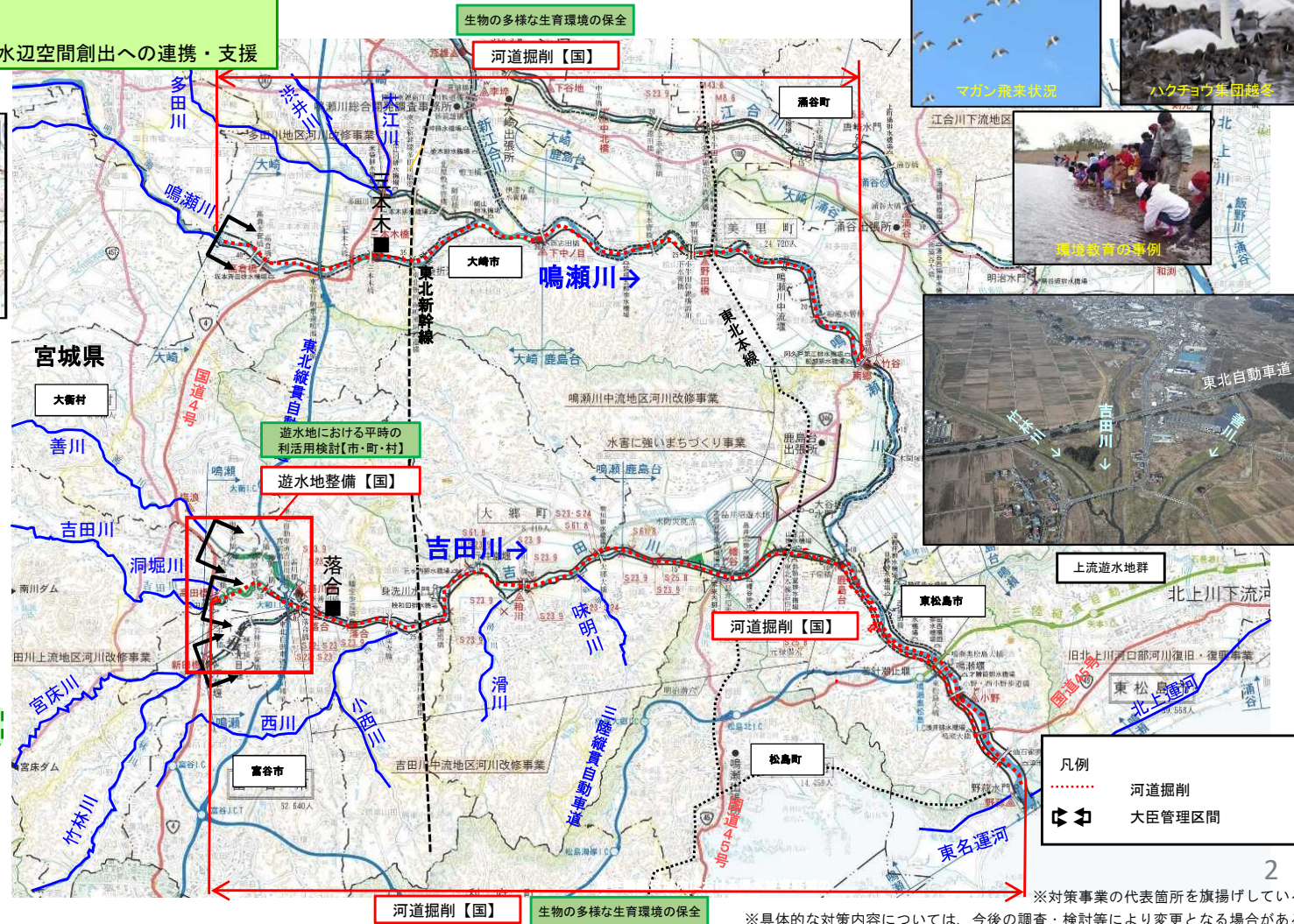
- ・動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
- ・水質の保全
- ・良好な景観の保全
- ・地域のニーズを踏まえた賑わいのある水辺空間創出への連携・支援



鳴瀬川ダム、漆沢ダムを活用したインフラツーリズム

■グリーンインフラメニュー

- 治水対策における多自然川づくり
 - ・生物の多様な生息環境の保全
 - ・遊水地における平時の利活用検討(上流遊水地群)
- 自然環境が有する多様な機能活用の取り組み
 - ・小学校などにおける環境学習
 - ・鳴瀬川ダム、漆沢ダムを活用したインフラツーリズム
- 流域治水に資する水田、ため池等の保全
 - ・生物の多様な生息環境の保全(水田貯留)
- 健全なる水循環系の確保
 - ・森林整備による水源涵養機能の維持



※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。
※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

鳴瀬川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～都市農村交流により支え合い開発とバランスの取れた流出抑制と更なる治水対策の充実～

○ 流域全体のあらゆる関係者が協働して協議・情報共有を図り、流域全体で水害を軽減させる「流域治水」を計画的に推進し、あわせて河川、下水道等の管理者が主体となって行う対策や、更に流域の特徴を踏まえた流出抑制対策、被害の防止・軽減対策を実施する。

【短期】平成27年9月、令和元年10月洪水により甚大な被害を受けた吉田川沿川の浸水被害を防ぐため、河道掘削及び堤防整備を推進するとともに、安全なまちづくりのための土地利用規制や、住民の避難行動を促す河川・ダムの情報提供の充実を図る。

【中期】鳴瀬川沿川の浸水被害を防ぐため、堤防整備及び河道掘削を推進するとともに、安全なまちづくりのための嵩上げ盛土支援や広域連携による避難強化を図る。

【中長期】鳴瀬川ダムの完成を目指すと共に、河川においては令和元年東日本台風を踏まえた更なる治水対策を推進するとともに、森林整備や農業用施設との連携による流出抑制下水道整備を進める。さらにマイタイムラインなど地域住民自らの避難行動に繋がる防災意識の啓発を行い、より確実な避難態勢の構築を図る。

【ロードマップ】 ※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

区分	対策内容	実施主体	工期		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぎ、減らすための対策	吉田川沿川の氾濫を防ぐ河道掘削及び堤防整備	北上川下流河川事務所・宮城県	河道掘削、堤防整備、遊水地整備		
	鳴瀬川沿川の氾濫を防ぐ堤防整備及び河道掘削	北上川下流河川事務所・宮城県	河道掘削、堤防整備		
	令和元年東日本台風を踏まえた更なる対策	北上川下流河川事務所・宮城県	更なる治水対策		
	鳴瀬川総合開発事業（鳴瀬川ダム（建設）及び漆沢ダム（洪水調節専用化））	鳴瀬川総合開発工事事務所	鳴瀬川ダム建設、漆沢ダム洪水調節専用化		
	利水ダムの洪水調節機能強化	東北農政局・宮城県・流域市町村等	利水ダムの洪水調節機能強化		
	下水道の整備	流域市町村等	下水道の整備		
	流出抑制対策検討	流域市町村等	農業用施設との連携 流出抑制対策検討		
	水田貯留	東北農政局・宮城県・流域市町村等	水田貯留		
被害対策を減少させるための対策	森林整備・治山対策	東北森林管理局・宮城県・森林整備センター	森林整備・治山対策		
	土地利用・住まい方の工夫の検討	流域市町村等	嵩上げ盛土支援・広域避難連携 土地利用・住まい方の工夫の検討		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	被害軽減対策検討	北上川下流河川事務所・宮城県・市町村等	被害軽減対策検討		
	ソフト対策のための整備検討	北上川下流河川事務所・宮城県・市町村等	マイタイムライン普及支援 ソフト対策のための整備検討		
グリーンインフラの取組	生物の多様な生息環境の保全	北上川下流河川事務所	河道掘削		
	遊水地における平時の利活用検討（上流遊水地群）	北上川下流河川事務所	遊水地整備		
	小学校などにおける環境学習	北上川下流河川事務所・市町村等	鳴瀬川ダム建設		
	鳴瀬川ダム、漆沢ダムを活用したインフラツーリズム	鳴瀬川総合開発工事事務所・市町村等	生物の多様な生育環境の保全（水田貯留）		
	生物の多様な生育環境の保全（水田貯留）	東北農政局・宮城県・流域市町村等	森林整備による水源涵養機能の維持		
	森林整備による水源涵養機能の維持	東北森林管理局・宮城県・森林整備センター			



【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■ 河川対策 全体事業費 約1,940億円 ※1 対策内容 河道掘削、堤防整備、遊水地整備 等 鳴瀬川ダム建設 漆沢ダム洪水調節専用化
■ 下水道対策 全体事業費 約10億円 ※2 対策内容 雨水調整池、幹線整備 等

※1: 灌漑及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
※2: 各河川における下水道事業計画の残事業費（汚水系含む）を記載

鳴瀬川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】

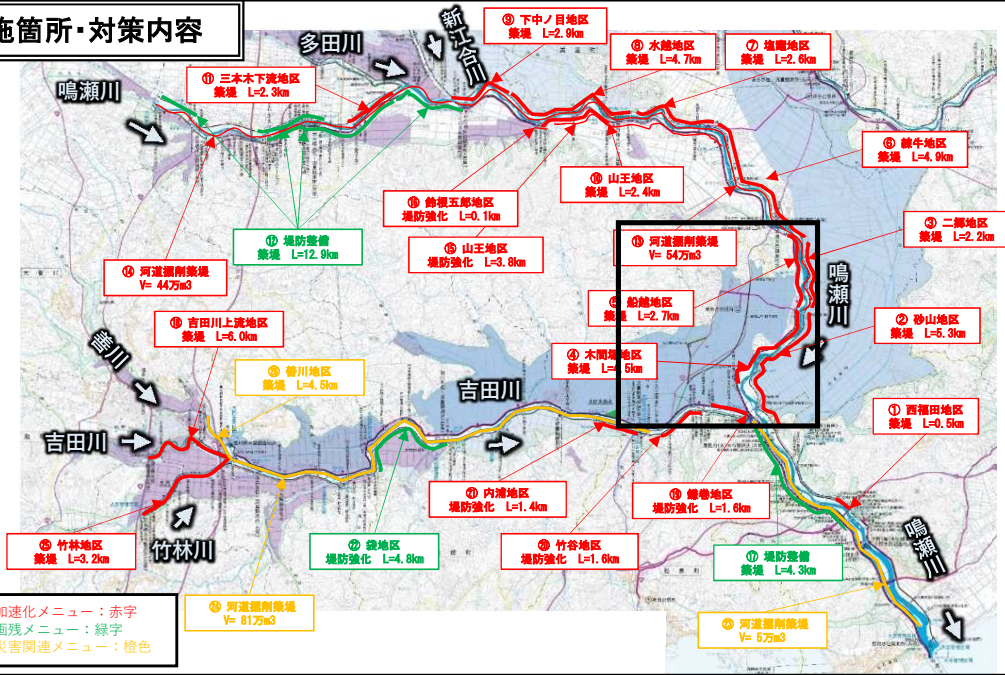
～都市農村交流により支え合い、開発とバランスの取れた流出抑制と更なる治水対策の充実～

進捗と効果 (R4.3版)

支川吉田川上流の床上浸水対策特別緊急事業がR4に完了することで、平成27年9月の関東・東北豪雨と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を解消することが可能となる。また、吉田川の大規模災害関連事業がR6に完了することで、令和元年10月の東日本台風と同規模の洪水に対して家屋の浸水被害を防止することが可能となる。

短期整備(5カ年加速化対策)効果：河川整備率 約12%→約53%

実施箇所・対策内容



5カ年加速化メニュー：赤字
 整備計画残メニュー：緑字
 大規模災害関連メニュー：橙色

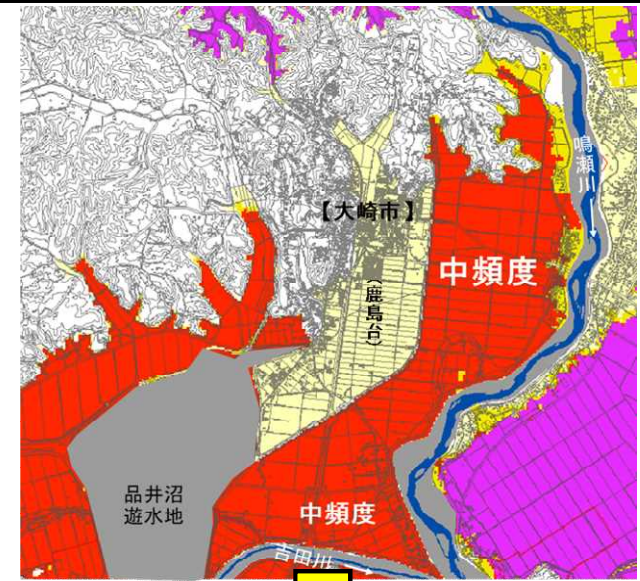
現在

※外水氾濫のみを想定したものである。

注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。

凡例

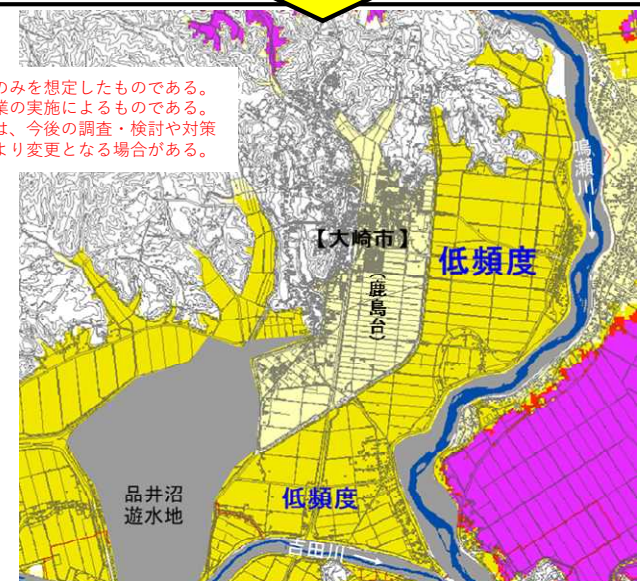
- 高頻度 (1/10)
- 中高頻度 (1/30)
- 中頻度 (1/50)
- 低頻度 (1/100)
- 想定最大規模



短期

※外水氾濫のみを想定したものである。
 ※国直轄事業の実施によるものである。
 ※浸水範囲は、今後の調査・検討や対策内容等により変更となる場合がある。

- 【短期整備完了時の進捗】
- ①西福田地区 堤防整備
 - ②砂山地区 堤防整備
 - ③二郷地区 堤防整備
 - ④木間塚地区 堤防整備
 - ⑤船越地区 堤防整備
 - ⑥練牛地区 堤防整備
 - ⑦塩竈地区 堤防整備
 - ⑧水越地区 堤防整備
 - ⑨下中ノ目地区 堤防整備
 - ⑩三本木下流地区 堤防整備
 - ⑪三本木上流地区 堤防整備
 - ⑫竹林地区 堤防整備
 - ⑬地区 河道掘削 0%→100%
 - ⑭地区 河道掘削 0%→100%
 - ⑮山王地区 堤防強化
 - ⑯鈴音五郎地区 堤防強化
 - ⑰鎌巻地区 堤防強化
 - ⑱竹谷地区 堤防強化
 - ⑳内浦地区 堤防強化
 - 0%→100%



区分	対策内容	区間	工程		
			【5カ年加速化対策】短期(R3~R7年)	中期(R8~R12年)	中長期(R13~R23年)
鳴瀬川	堤防整備	①西福田地区	100%		
		②砂山地区	100%		
		③二郷地区	100%		
		④木間塚地区	100%		
		⑤船越地区	100%		
		⑥練牛地区	100%		
		⑦塩竈地区	100%		
		⑧水越地区	100%		
		⑨下中ノ目地区	100%		
		⑩三本木下流地区	100%		
		⑪三本木上流地区	100%		
吉田川	堤防強化	⑫竹林地区	100%		
		⑬地区	100%		
		⑭地区	100%		
		⑮山王地区	100%		
		⑯鈴音五郎地区	100%		
		⑰鎌巻地区	100%		
		⑱竹谷地区	100%		
		⑳内浦地区	100%		
		㉑内浦地区	100%		
		㉒内浦地区	100%		
		㉓内浦地区	100%		
香川	堤防整備	⑳香川地区	100%		
		㉑香川地区	100%		

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。


鳴瀬川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

～都市農村交流により支え合い、開発とバランスの取れた流出抑制と更なる治水対策の充実～

<p>戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）</p>  <p>整備率：53% (概ね5か年後)</p>	<p>農地・農業用施設の活用</p>  <p>6市町村 (令和3年度末時点)</p>	<p>流出抑制対策の実施</p>  <p>10施設 (令和2年度実施分)</p>	<p>山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策</p>  <p>治山対策等の実施箇所 1箇所 (令和3年度実施分) 砂防関係施設の整備数 0施設 (令和3年度完成分)</p>	<p>立地適正化計画における防災指針の作成</p>  <p>0市町村 (令和3年12月末時点)</p>	<p>避難のためのハザード情報の整備</p>  <p>洪水浸水想定区域 7河川 (令和3年12月末時点) 内水浸水想定区域 1団体 (令和3年11月末時点)</p>	<p>高齢者等避難の実効性の確保</p>  <p>洪水 311施設 土砂 29施設 (令和3年9月末時点) 個別避難計画 集計中 (令和4年1月1日時点)</p>
---	--	--	---	---	---	---

氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策


【水田貯留の推進】



大崎市古川千刈江地区(堰板設置式、説明看板設置)


○「**田んぼダム実証コンソーシアム設立(R3.6.14)**」
(宮城県、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町)
令和3年度から令和5年度までの3か年、大崎市千刈江地区において、「田んぼダム導入促進・効果検証モデル事業」として、堰板設置型の田んぼダムとスマート田んぼダムを設置しその効果の検証を行っています。

○ **田んぼダム実証・普及ワーキング(R3.7.29, R3.11.4)**



田んぼダム実証・普及ワーキングの開催状況

○**啓発活動(出前講座)**



古川第五小学校 古川南中学校 小牛田農林高校

被害対象を減少させるための対策

【復興まちづくり・都市防災総合推進事業】

粕川地区復興まちづくり・堤防復旧イメージパース



断面図(復興まちづくり、堤防改修)



兼用道路 宅地造成 防災避難緑地 吉田川

現地再建希望者のための嵩上げ宅地の整備

○ 大郷町では、中粕川地域の復興地域づくり方針として、万が一の危機対策を考え、速やかな生活再建が可能な地域づくりを進めるとともに、持続可能な地域の再生を図ることとしています。

○ 国土交通省の堤防復旧と大郷町の復興まちづくり連携して事業を推進し、地域の安全・安心の確保と復興再生エリアのコミュニティ形成を目標とした環境整備を実施します。

○ **合同着工式：令和3年9月26日**

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

【防災拠点の機能確保】



災害時の活用

- 緊急復旧用資材備蓄基地
- 災害対策車輛基地
- 車輛交換場所
- ヘリポート
- 洪水時の現地対策本部
- 水防団の待機場所
- 水防倉庫
- 一般住民の避難場所

平常時の活用

- コミュニティースペースとして地域に提供
- 水防活動の訓練等に利用
- 防災学習施設や川の情報発信拠点として水防センターを活用

○ **志田谷地防災センターの整備**
大崎市は地域の一時避難場所の確保、水防活動の体制強化など、国は災害対策車両の分散配備、排水活動の体制強化などを目的として整備を実施します。

○ **着工式：令和3年10月14日**



大崎市 (仮称)大崎市鹿島台志田谷地防災センター
水防待機室、一時避難所、現地指揮室
(平時はコミュニティセンターとして活用)

国土交通省
災害対策活動室
災害対策車両格納庫

志田谷地防災センター完成予想図

別紙2(北上川水系流域治水プロジェクト)

北上川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

○令和元年東日本台風では、各地で戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、北上川水系においては、広大な森林面積や地域の主産業（農業等）などの地域特性を考慮し、河川整備に併せて、森林整備、治山対策や農地等の活用などの流域治水の取り組みを実施していく。また、国管理区間においては、北上川の堤防が決壊し、流域で甚大な被害が発生した戦後最大の昭和22年9月洪水と同規模の洪水を安全に流下させ、流域における浸水被害の軽減を図る。



● 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 河川区域での対策
 - ・河道掘削、堤防整備、遊水地整備、北上川上流ダム再生、築川ダム建設等
- 集水域での対策
 - ・既存ダムにおける事前放流等の実施、体制構築
 - ・下水道事業（雨水ポンプ場、幹線整備等）
 - ・水田貯留・森林整備・治山対策・土砂災害対策等
 - ・流出抑制対策検討 ※今後、関係機関と連携し対策検討



● 被害対象を減少させるための対策

- 氾濫域での対策
 - ・土地利用に関する計画の見直し（立地適正化計画の策定等）
 - ・土地利用・住まいの方の工夫（浸水被害軽減の宅地嵩上げ支援等）

※今後、関係機関と連携し対策検討

● 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 氾濫域での対策
 - ・防災拠点等の機能確保
 - ・要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進
 - ・水害リスク空白域の解消
 - ・メディアと連携による洪水情報の提供
 - ・簡易型河川監視カメラの設置
 - ・災害リスクの現地表示箇所等の拡大を促進
 - ・マイ・タイムライン普及促進
 - ・住民への情報伝達の充実
 - ・ダム堰の効果・操作に関わる情報の周知
 - ・水防資機材の拡充等

※今後、関係機関と連携し対策検討

● グリーンインフラの取り組み 詳細次ページ

※対策事業の代表箇所を旗揚げしている。
 ※具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。



凡例

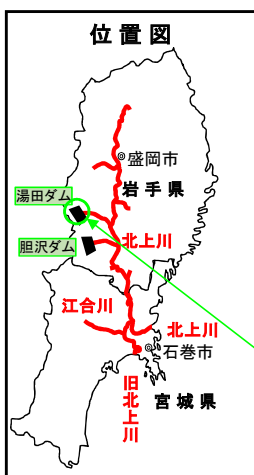
- 堤防整備
- - - 堤防強化
- 河道掘削
- 浸水想定範囲 (昭和22年9月洪水と同規模)
- ◀▶ 大臣管理区間

北上川水系流域治水プロジェクト×グリーンインフラ【位置図】

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

●グリーンインフラの取り組み 『歴史と文化を反映した賑わい水辺空間の創出』

- 北上川は、幹川流路延長249 kmの東北第一の一級河川で、古くから舟運等により地域交流の軸として利用されており、また近年でも川下りや各種イベント等に多く活用され、地域の文化の基盤かつ地域の交流拠点となっている。
- 人と河川とのふれあいの場を確保するため、2箇所で開催している「かわまちづくり」を軸として、今後概ね9年間で親水護岸など水辺と触れ合える環境の場を整備・管理し、親水活動や環境学習、地域の交流・連携等の拠点とするなど、自然環境が有する多様な機能を活かすグリーンインフラの取組を促進する。



■グリーンインフラメニュー

●健全なる水循環の確保

- ・森林整備による水源涵養機能維持増進等

●治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生育環境の保全
- ・連続性の確保
- ・公園貯留(維持管理が容易で安全性の高い防災調整池)

●魅力ある水辺空間・賑わい創出

- ・一関地区かわまちづくり・西和賀町かわまちづくり
- ・舟運イベント(北上川・開運橋上流)

●自然環境が有する多様な機能活用の取組み

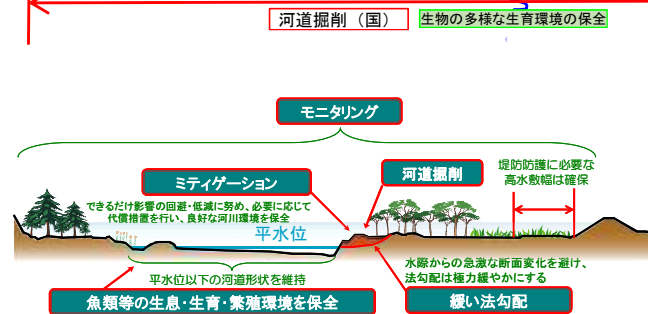
- ・御所ダム、四十四田ダム、田瀬ダム、湯田ダム、胆沢ダムを活用したインフラツーリズム
- ・田んぼダム実証事業に係る現地説明会の開催

●流域治水に資する水田の保全

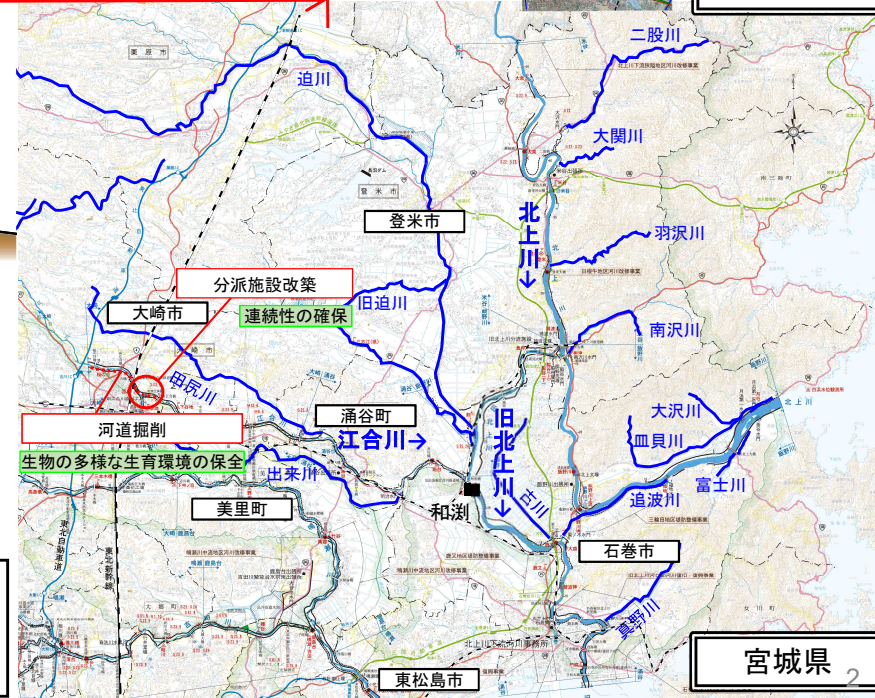
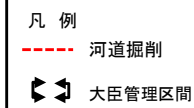
- ・生物の多様な生育環境の保全(水田貯留)

【全域に係わる取組】

- ・動植物の生息・生育・繁殖環境の保全
- ・水質の保全
- ・良好な景観の保全
- ・地域のニーズを踏まえた賑わい空間創出への連携・支援



悠久の流れ北上川(岩手県盛岡市)



宮城県

北上川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

- 北上川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国、県、市町村が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】一関遊水地整備や遊水地下流部の堤防整備および旧北上川分流施設による分派の受け皿としての北上川下流部の堤防整備等を実施するとともに、安全なまちづくりのための土地利用に関する計画の見直しを図る。
 - 【中期】盛岡市街地や北上川沿川等の浸水被害を防ぐため、北上川上流ダム再生および堤防整備等を実施するとともに、森林整備や治山対策と連携した流出抑制や、簡易型河川監視カメラの設置等による避難体制の強化を図る。
 - 【中長期】河道掘削や堤防整備及び新江合川分派施設を改築するとともに、下水道事業による内水被害軽減等の対策を図る。さらに、メディアとの連携による洪水情報の提供や、講習会の実施によるマイ・タイムラインの普及促進、要配慮者利用施設の避難確保計画作成等により、地域住民の防災意識の啓発と確実な避難体制の構築を図る。

【ロードマップ】

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。 ※ ■■■■■■ : 対策実施に向けた調整・検討期間を示す。

区分	対策内容	実施主体	工程			
			短期	中期	中長期	
知照をできるだけ防ぐ・減らすための対策	一関遊水地下流の治水対策	岩手河川国道事務所、岩手県	遊水地下流部(本川) [一関遊水地下流の治水対策(本川)完了(岩手河川国道事務所、岩手県)]			
	一関遊水地の整備	岩手河川国道事務所	一関遊水地の整備完了(岩手河川国道事務所)			
	北上川上流の浸水被害を防ぐための堤防整備	岩手河川国道事務所、岩手県	北上川上流の浸水被害を防ぐための堤防整備完了(岩手河川国道事務所)			
	北上川上流の浸水被害を防ぐための河道掘削	岩手河川国道事務所、岩手県	北上川上流の浸水被害を防ぐための河道掘削(岩手河川国道事務所) [北上川(上流)広域河川改修事業完了(岩手県)]			
	北上川上流ダム再生	北上川ダム統合管理事務所	北上川上流ダム再生完了(北上川ダム統合管理事務所)			
	利水ダム等の事前放流等に関する対策	北上川ダム統合管理事務所、鴨子ダム管理所、北上土地改良調査管理事務所、岩手県、宮城県				
	流出抑制に関する対策	岩手河川国道事務所、岩手県、宮城県、流城市町等				
	下水道事業(雨水ポンプ場、幹線整備等)	流城市町等	下水道施設耐水化事業完了(盛岡市)			
	水田貯留(支援含む)	国、県、流城市町				
	北上川下流部及び石巻災害地を守る堤防整備	北上川下流河川事務所、宮城県	北上川下流部及び石巻災害地を守る堤防整備完了(北上川下流河川事務所、宮城県)			
	北上川下流の浸水被害を防ぐための堤防整備	北上川下流河川事務所、宮城県	北上川下流の浸水被害を防ぐための堤防整備完了(国、県)			
	北上川下流の浸水被害を防ぐための河道掘削	北上川下流河川事務所、宮城県				
	江合川の浸水被害を防ぐための河道掘削	北上川下流河川事務所、宮城県				
	新江合川分派施設	北上川下流河川事務所				
	被害対象を減少させるための対策	土砂災害対策	岩手河川国道事務所、岩手県	北上川水系 岩の目の沢 事業関連連携砂防等事業完了(岩手県)		
森林整備・治山対策		岩手河川国道事務所、東北森林管理局、森林整備センター、岩手県、宮城県、流城市町等				
災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し		盛岡市、花巻市、北上市、奥州市、雫石町 等	災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し完了(花巻市) [災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定・見直し完了(盛岡市、北上市、奥州市、雫石町)]			
要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進		国、県、流城市町	要配慮者利用施設の避難確保計画作成の促進(国、県、流城市町等)			
水害リスク空白域の解消		県、流城市町				
メディアとの連携による洪水情報の提供		北上川ダム統合管理事務所、岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所、鴨子ダム管理所、岩手県、宮城県				
簡易型河川カメラの設置・運用		岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所、岩手県、宮城県	簡易型河川監視カメラの設置(国、県)			
マイ・タイムライン普及促進		岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所、岩手県、宮城県				
被害軽減対策検討		岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所、岩手県、宮城県、流城市町等				
ソフト対策のための整備検討		岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所、岩手県、宮城県、流城市町等				
グリーンインフラの取組		森林整備による水源涵養機能維持増進等	盛岡市			
		公園貯留(維持管理が容易で安全性の高い防災調整地)	盛岡市			
		田んぼダム実証事業に係る現地説明会の開催	矢巾町			
		舟運イベント	盛岡市			
		一関地区かわまちづくり	岩手河川国道事務所、一関市			
	西和賀かわまちづくり	北上川ダム統合管理事務所、西和賀町				
	生物の多様な生育環境の保全(水田貯留)	北上土地改良調査管理事務所、岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所、滝沢市、矢巾町				
	連続性の確保	北上川下流河川事務所				
	小中学校などにおける河川環境学習	岩手河川国道事務所、北上川下流河川事務所				
	御所ダム、四十四田ダム、田瀬ダム、湯田ダム、照沢ダムを活用したインフラツーリズム	北上川ダム統合管理事務所				



【事業費（R2年度以降の残事業費）】

■ 河川対策	全体事業費	約3,120億円 ※1
対策内容	河道掘削、堤防整備、遊水地整備、北上川上流ダム再生、築川ダム建設 等	
■ 砂防対策	全体事業費	約350億円 ※2
対策内容	土砂災害対策 等	
■ 下水道対策	全体事業費	約1,740億円 ※3
対策内容	雨水ポンプ場、幹線整備 等	

※1：直轄及び各圏域の河川整備計画の残事業費を記載
 ※2：直轄砂防事業の残事業費を記載（秋田県を除く）
 ※3：各市町における下水道事業計画の残事業費を記載

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

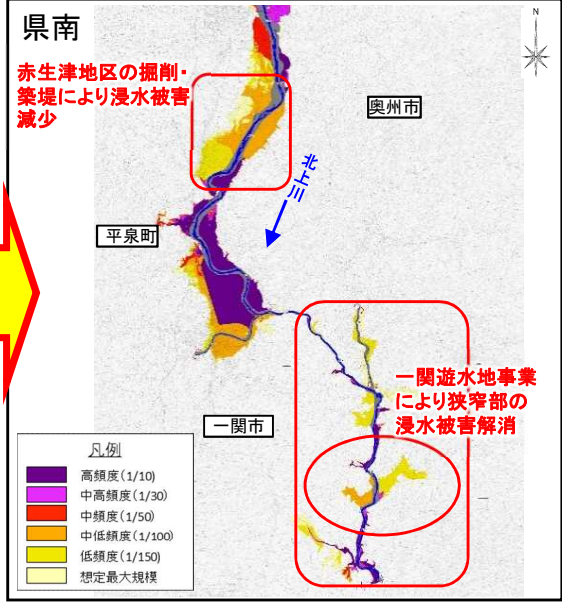
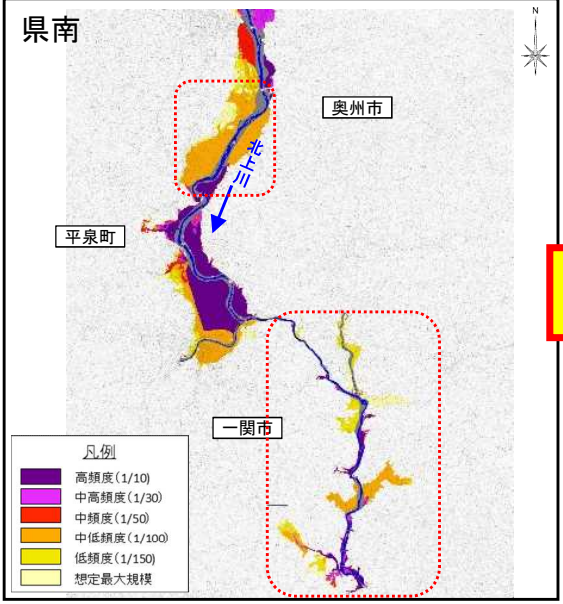
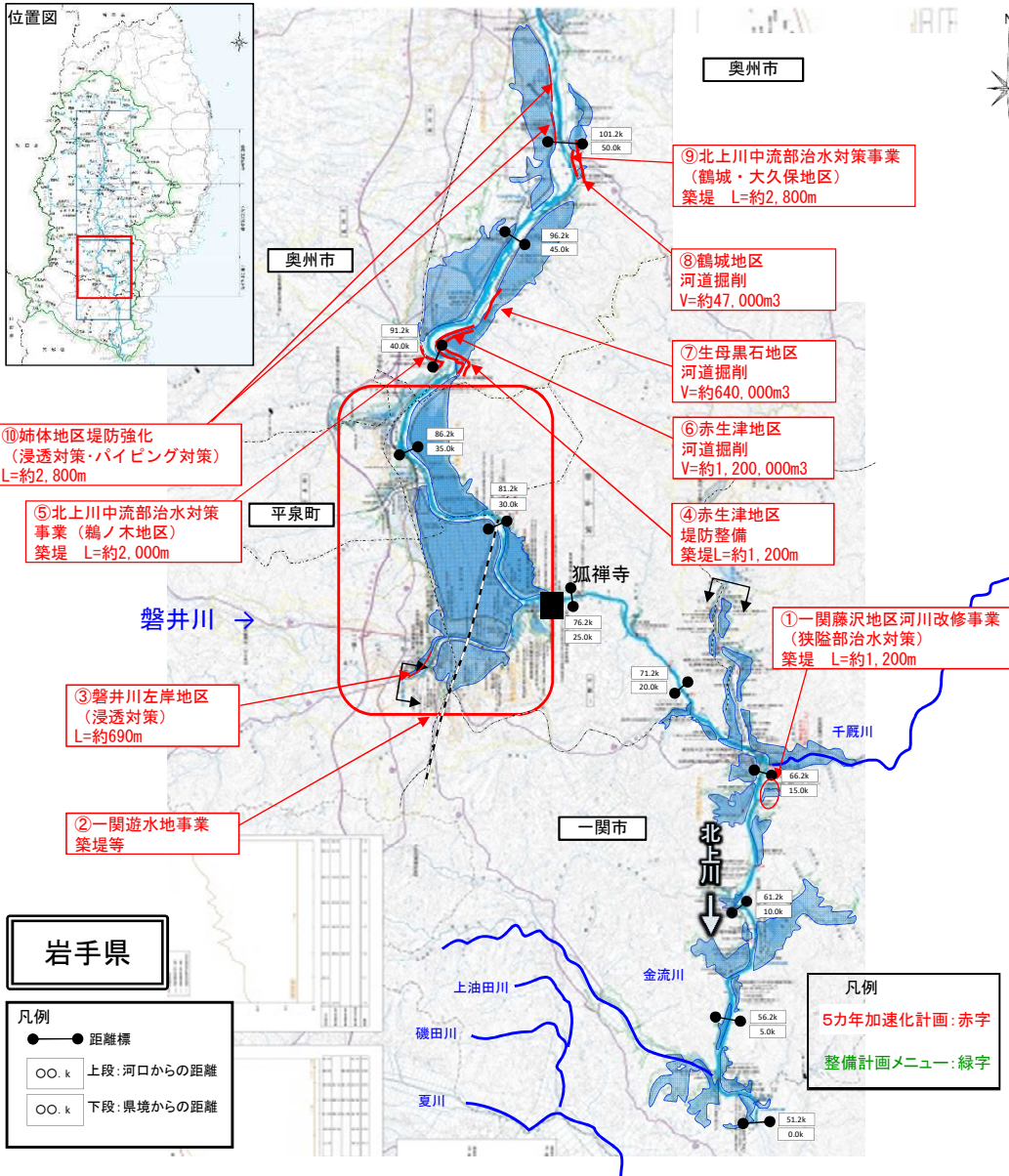
短期整備（5か年加速化対策）効果：河川整備率 約52%→約60%

一関遊水地の暫定運用を開始することで、大規模洪水時の貯留効果の発現により、浸水被害の軽減が図られる。

実施箇所・対策内容

現在

短期



※浸水被害は、今後の調査・検討や対策内容等により変更となる場合がある。

区分	対象内容	区間	緊急治水対策	R3			区分	対象内容	区間	緊急治水対策	R3		
				前期 (R3-10/21)	中期 (R3-11/22)	後期 (R3-12/23)					前期 (R3-10/21)	中期 (R3-11/22)	後期 (R3-12/23)
北上川	堤防整備	①一関藤沢地区	○	100%			北上川	堤防整備	②二子地区堤防整備	○		100%	
	遊水池	②一関遊水地建設事業	○	100%				堤防強化	③栗木・先沢地区	○		100%	
	磐井川	堤防整備	③磐井川左岸地区	○	100%				堤防強化	④南郷地区	○		100%
		堤防整備	④赤生津地区	○	100%				堤防強化	⑤土六・福山地区	○		100%
	北上川	堤防整備	⑤鶴ノ木地区	○	20%	100%			堤防強化	⑥栗木地区	○		100%
		河堤整備	⑥赤生津地区	○	80%	100%			河堤整備	⑦矢沢地区	○		100%
		河堤整備	⑦生母黒石地区	○	20%	100%			堤防整備	⑧栗野地区堤防整備	○		100%
		河堤整備	⑧鶴城地区	○	100%				河堤整備	⑨栗野日地区	○		100%
		堤防整備	⑨鶴城・大久保地区	○	20%	100%			河堤整備	⑩八重田地区	○		100%
		堤防強化	⑩姉休地区	○	100%				堤防整備	⑪八幡地区	○		100%
北上川		堤防整備	⑪栗谷堂地区	○		100%		堤防整備	⑫八重田地区	○		100%	
		堤防整備	⑫水戸地区	○		100%		河堤整備	⑬新田地区	○		100%	
		堤防整備	⑬金ヶ野地区	○		100%		河堤整備	⑭十木・彦根地区	○		100%	
		堤防整備	⑭三ノ沢地区	○		100%		河堤整備	⑮日田地区	○		100%	
	河堤整備	⑮三ノ沢地区	○		100%		堤防整備	⑯栗沢地区	○	30%	100%		
	堤防強化	⑯栗野地区	○		100%		堤防整備	⑰栗沢地区	○		100%		
	河堤整備	⑰鶴城地区	○		100%		堤防強化	⑱乙部地区	○		100%		
	堤防整備	⑱栗野頭地区	○		100%		堤防強化	⑲乙部地区	○		100%		
	堤防整備	⑲和賀川右岸地区	○		100%		堤防整備	⑳手代地区	○		100%		
	河堤整備	⑳栗沢地区	○		100%		堤防強化	㉑栗田地区	○		100%		
北上川	河堤整備	㉑立花・小島崎・栗沢・二子・栗木・成田地区	○		100%		河堤整備	㉒栗田地区	○		100%		
	堤防整備	㉒小島崎地区	○		100%		堤防強化	㉓栗田地区	○		100%		
	堤防整備	㉓栗田地区	○		100%		堤防強化	㉔栗田地区	○		100%		
	堤防整備	㉔栗田地区	○		100%		堤防強化	㉕栗田地区	○		100%		
	堤防整備	㉕栗田地区	○		100%		堤防強化	㉖栗田地区	○		100%		

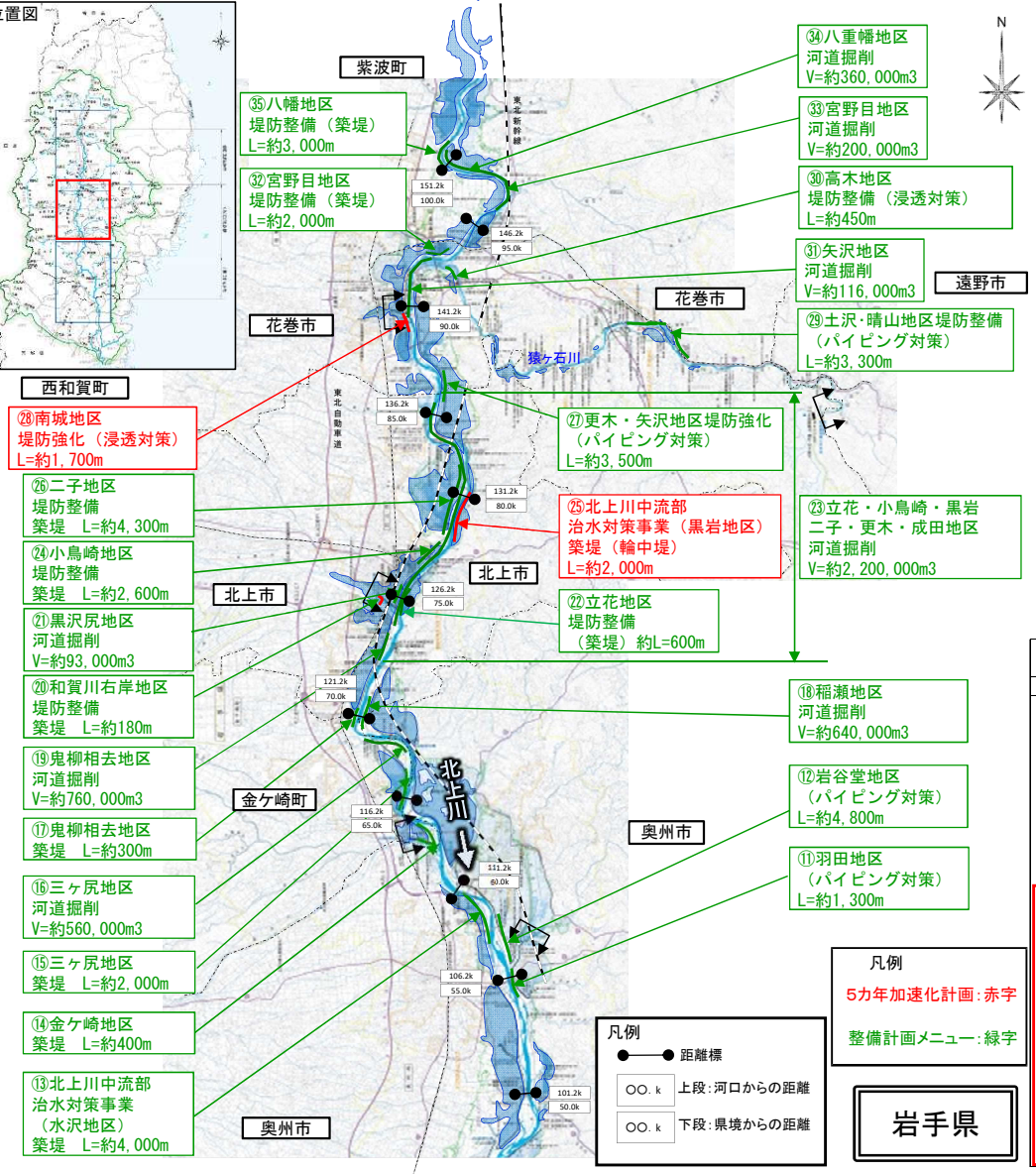
※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

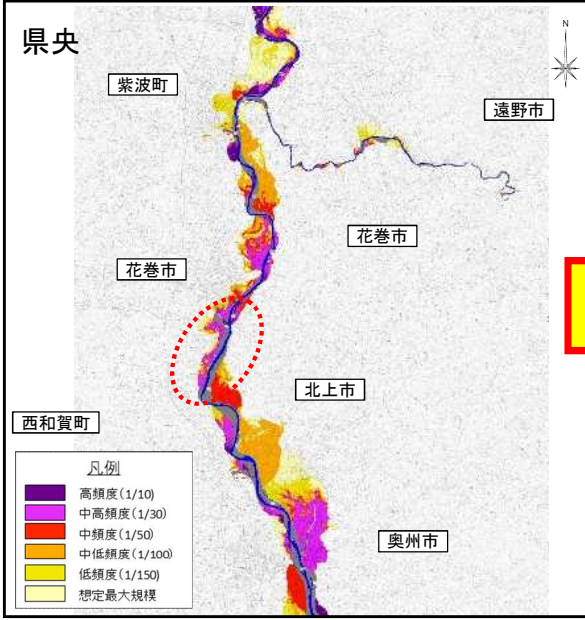
短期整備（5か年加速化対策）効果：河川整備率 約52%→約60%

一関遊水地の暫定運用を開始することで、大規模洪水時の貯留効果の発現により、浸水被害の軽減が図られる。

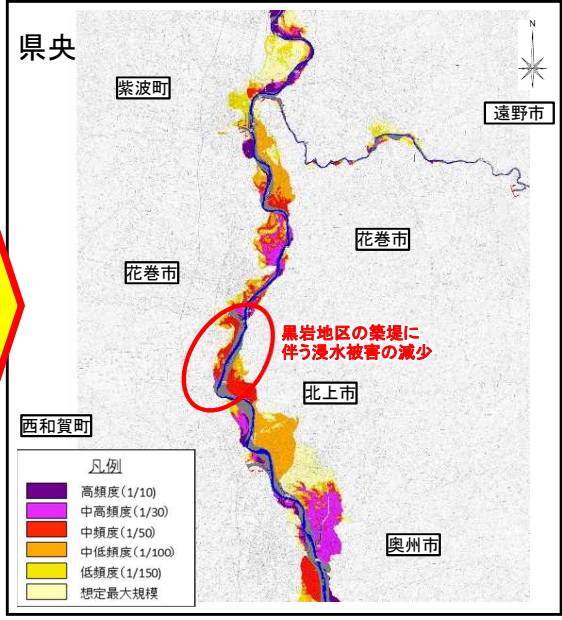
実施箇所・対策内容



現在



短期



※浸水被害は、今後の調査・検討や対策内容等により変更となる場合がある。

区分	対策内容	区間	現在			短期		
			割合	進捗	効果	割合	進捗	効果
北上川	河川整備等	①一関遊水地区	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	浸水地	②一関遊水地貯留事業	100%	100%	100%	100%	100%	100%
	磐井川	堤防整備	③磐井川左岸地区	100%	100%	100%	100%	100%
		堤防整備	④磐井川右岸地区	100%	100%	100%	100%	100%
	北上川	河川掘削	⑤三ヶ尻地区	20%	100%	100%	100%	100%
		河川掘削	⑥三ヶ尻地区	80%	100%	100%	100%	100%
		河川掘削	⑦三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%
		河川掘削	⑧三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%
		河川掘削	⑨三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%
		河川掘削	⑩三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%
河川掘削		⑪三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
河川掘削		⑫三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
北上川	河川掘削	⑬三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
	河川掘削	⑭三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
	河川掘削	⑮三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
	河川掘削	⑯三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
	河川掘削	⑰三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
	河川掘削	⑱三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
	河川掘削	⑲三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
	河川掘削	⑳三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
	河川掘削	㉑三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	
	河川掘削	㉒三ヶ尻地区	100%	100%	100%	100%	100%	

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

短期整備（5か年加速化対策）効果：河川整備率 約52%→約60%

一関遊水地の暫定運用を開始することで、大規模洪水時の貯留効果の発現により、浸水被害の軽減が図られる。

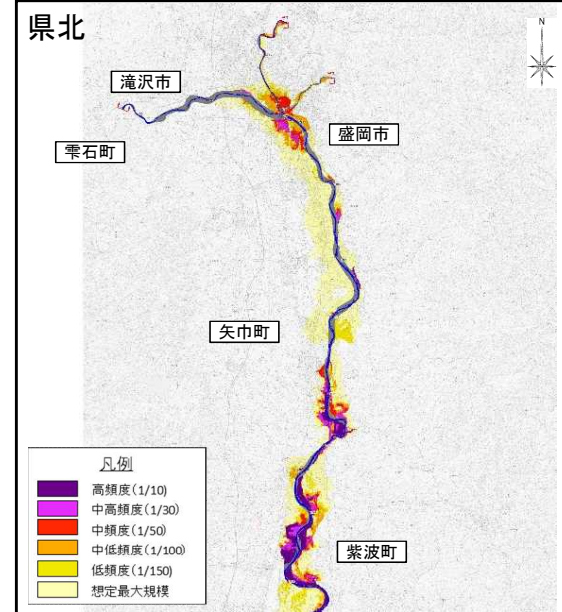
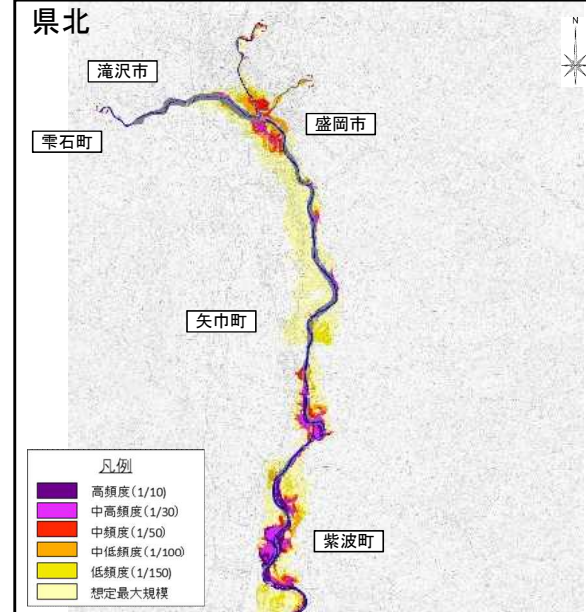
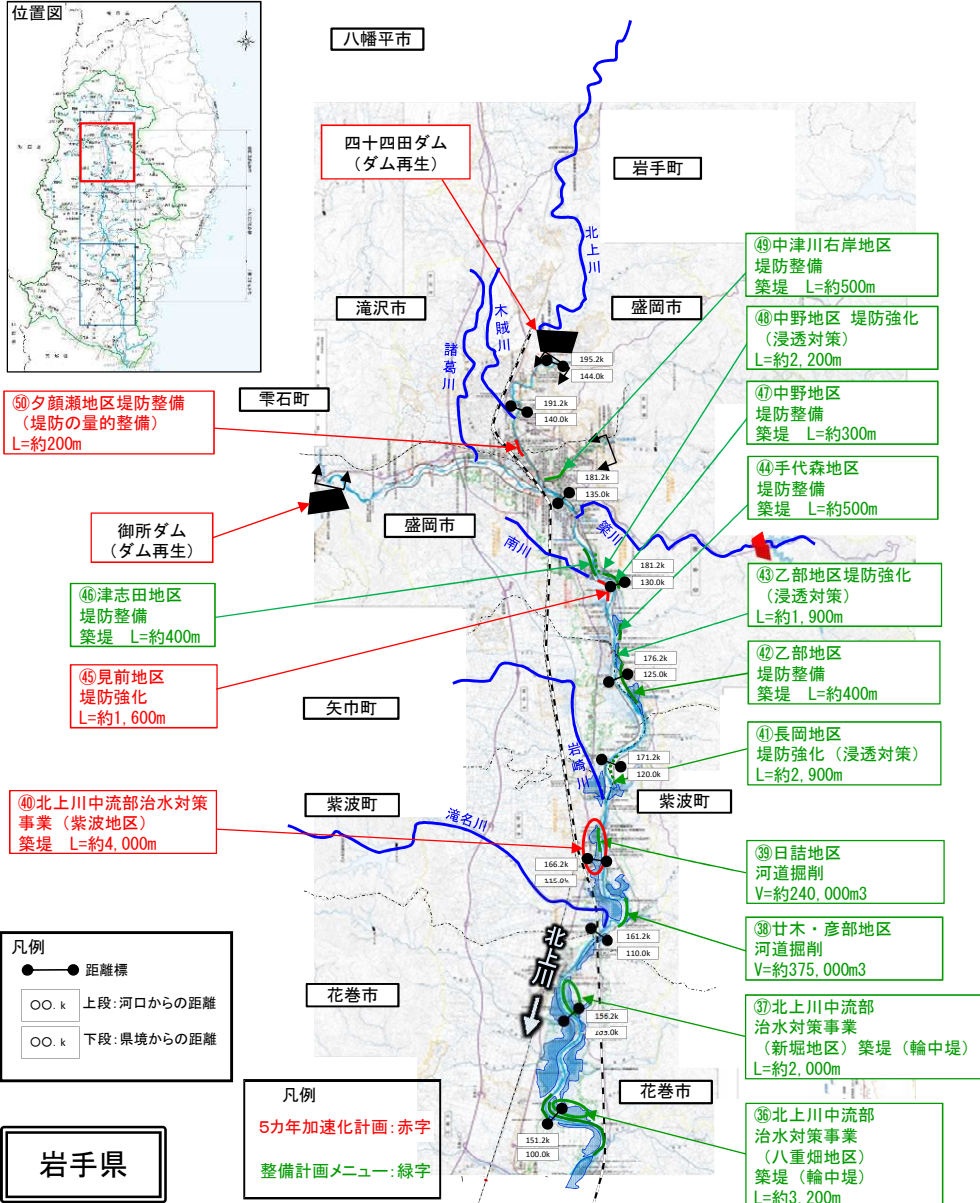
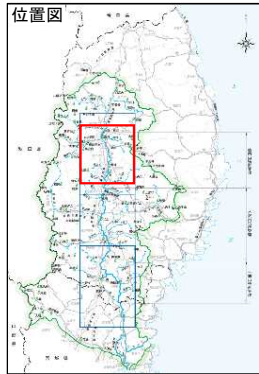
実施箇所・対策内容

現在

※外水氾濫のみを想定した物である

短期

※外水氾濫のみを想定した物である
※国直轄事業の実施によるものである



※浸水被害は、今後の調査・検討や対策内容等により変更となる場合がある。

区分	対策内容	区域	緊急治水対策	工期		
				前期 (R3-R7年)	中期 (R8-R12年)	後期 (R13-R23年)
北山川	堤防整備等	①一関橋対地区	○	100%		
	遊水池	②一関遊水池建設事業		100%		
	堤防強化	③春山山並地区		100%		
	堤防整備	④赤生津地区		100%		
	堤防整備	⑤龍ノ木地区	○	20%		100%
	河堤整備	⑥赤生津地区		50%	100%	
	河堤整備	⑦生基津地区		100%	100%	
	河堤整備	⑧鶴巻地区		100%		
	堤防強化	⑨鶴巻・大久保地区	○	20%		100%
	堤防強化	⑩野田地区		100%		
磐石川	堤防整備等	⑪八重垣地区	○			100%
	堤防整備等	⑫新堀地区	○			100%
	河堤整備	⑬赤木・赤部地区				100%
	河堤整備	⑭日笠地区				100%
	河堤整備	⑮赤木地区	○	30%		100%
	堤防強化	⑯長貝地区				100%
	堤防強化	⑰乙部地区				100%
	堤防強化	⑱乙部地区				100%
	堤防整備	⑲手代森地区				100%
	堤防整備	⑳栗原地区		100%		
北上川	河堤整備	㉑三ノ尻地区				100%
	河堤整備	㉒三ノ尻地区				100%
	河堤整備	㉓三ノ尻地区				100%
	河堤整備	㉔三ノ尻地区				100%
	河堤整備	㉕三ノ尻地区				100%
	河堤整備	㉖三ノ尻地区				100%
	河堤整備	㉗三ノ尻地区				100%
	河堤整備	㉘三ノ尻地区				100%
	河堤整備	㉙三ノ尻地区				100%
	河堤整備	㉚三ノ尻地区				100%
花巻市	河堤整備	㉛立花地区				100%
	河堤整備	㉜立花・小島崎・黒沢・二子・夏木・成田地区				100%
	河堤整備	㉝小島崎地区				100%
	河堤整備	㉞黒沢地区	○	50%		100%
	河堤整備	㉟黒沢地区				100%
	河堤整備	㊱黒沢地区				100%
	河堤整備	㊲黒沢地区				100%
	河堤整備	㊳黒沢地区				100%
	河堤整備	㊴黒沢地区				100%
	河堤整備	㊵黒沢地区				100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。

岩手県

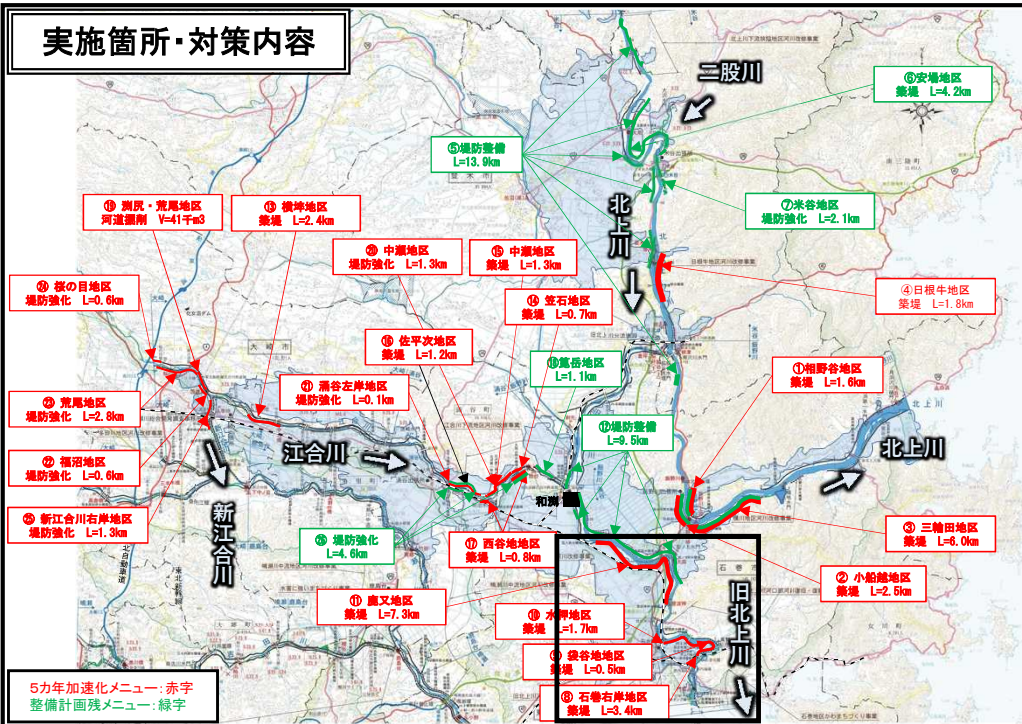
北上川水系流域治水プロジェクト【事業効果（国直轄区間）の見える化】北上川下流

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農地等を活用した治水対策の推進～

進捗と効果 (R4.3版)

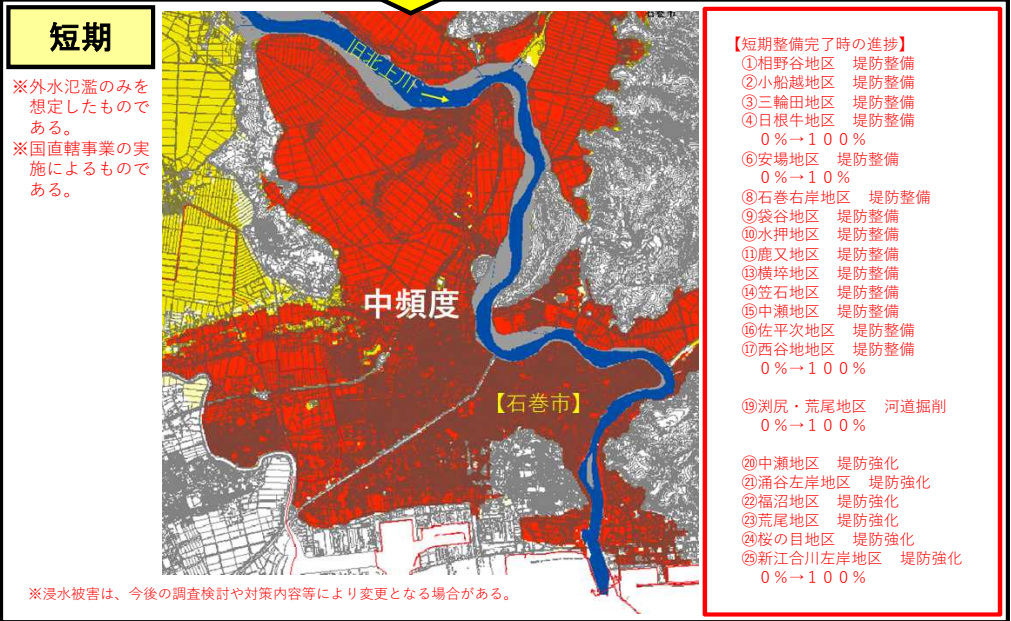
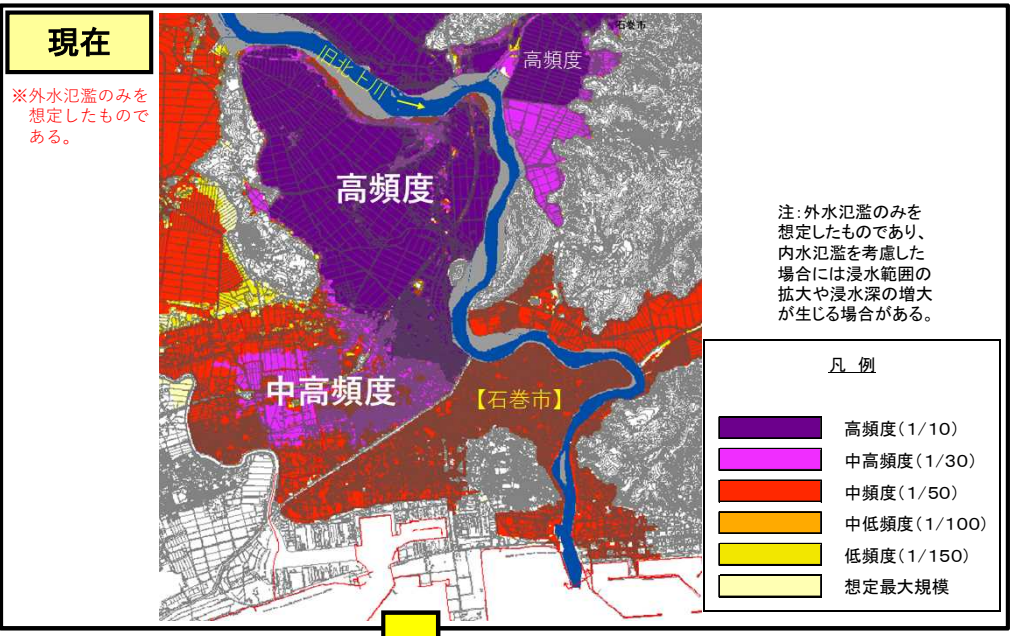
日根牛地区の堤防整備事業がR5に完了することで、背後の集落の浸水リスクが軽減する。

短期整備(5か年加速化対策)効果：河川整備率 約52%→約60%



区分	対策内容	区間	工程		
			【5か年加速化対策】 短期(R3~R7年)	中期(R8~R12年)	中長期(R13~R23年)
北上川	堤防整備	①相野谷地区	100%		
		②小船越地区	100%		
		③三輪田地区	100%		
		④日根牛地区	100%	60%	100%
		⑤登米～鹿嶋、日根牛～米谷、西部～磯崎立	100%	60%	100%
	堤防強化	⑥安場地区	100%		
		⑦米谷地区	100%		100%
		⑧石巻右岸地区	100%		
		⑨袋谷地区	100%		
		⑩水押地区	100%		
旧北上川	堤防整備	⑪鹿又地区	100%	100%	
		⑫横坪地区	100%		
		⑬笠石地区	100%		
		⑭中瀬地区	100%		
		⑮佐平次地区	100%		
江合川	堤防強化	⑯西谷地区	100%		
		⑰西谷地区	100%	60%	100%
		⑱鹿又地区	100%		
		⑲新江合川左岸地区	100%		60%
		⑳西谷地～砂田、佐平次	100%		100%

※スケジュールは今後の事業進捗によって変更となる場合がある。



現在

※外水氾濫のみを想定したものである。

短期

※外水氾濫のみを想定したものである。
※国直轄事業の実施によるものである。

- 注：外水氾濫のみを想定したものであり、内水氾濫を考慮した場合には浸水範囲の拡大や浸水深の増大が生じる場合がある。
- 凡例
- 高頻度 (1/10)
 - 中高頻度 (1/30)
 - 中頻度 (1/50)
 - 中低頻度 (1/100)
 - 低頻度 (1/150)
 - 想定最大規模
- 【短期整備完了時の進捗】
- ①相野谷地区 堤防整備
 - ②小船越地区 堤防整備
 - ③三輪田地区 堤防整備
 - ④日根牛地区 堤防整備
 - ⑤登米～鹿嶋、日根牛～米谷、西部～磯崎立 0%→100%
 - ⑥安場地区 堤防整備
 - ⑦米谷地区 堤防整備
 - ⑧石巻右岸地区 堤防整備
 - ⑨袋谷地区 堤防整備
 - ⑩水押地区 堤防整備
 - ⑪鹿又地区 堤防整備
 - ⑫横坪地区 堤防整備
 - ⑬笠石地区 堤防整備
 - ⑭中瀬地区 堤防整備
 - ⑮佐平次地区 堤防整備
 - ⑯西谷地区 堤防整備
 - ⑰西谷地～砂田、佐平次 0%→100%
 - ⑱刈尻・荒尾地区 河道掘削
 - ⑲新江合川左岸地区 堤防強化
 - ⑳中瀬地区 堤防強化
 - ㉑涌谷左岸地区 堤防強化
 - ㉒福沼地区 堤防強化
 - ㉓荒尾地区 堤防強化
 - ㉔桜の目地区 堤防強化
 - ㉕新江合川左岸地区 堤防強化
 - ㉖新江合川左岸地区 堤防強化
 - ㉗西谷地区 堤防強化
 - ㉘佐平次地区 堤防強化
 - ㉙中瀬地区 堤防強化
 - ㉚鹿又地区 堤防強化
 - ㉛水押地区 堤防強化
 - ㉜袋谷地区 堤防強化
 - ㉝石巻右岸地区 堤防強化
 - ㉞小船越地区 堤防強化
 - ㉟相野谷地区 堤防強化

※浸水被害は、今後の調査検討や対策内容等により変更となる場合がある。

北上川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

北上川上流

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農業等を活用した治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）



整備率：60%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



11市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



15施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所 31箇所
（令和3年度実施分）

砂防関係施設の整備数 1施設
（令和3年度完成分）

立地適正化計画における防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 33河川
（令和3年12月末時点）

内水浸水想定区域 2団体
（令和3年11月末時点）

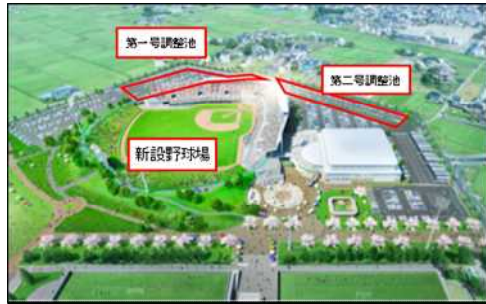
高齢者等避難の実効性の確保



洪水 1198施設
避難確保計画 土砂 142施設
（令和3年9月末時点）

個別避難計画 集計中
（令和4年1月1日時点）

被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策



盛岡市

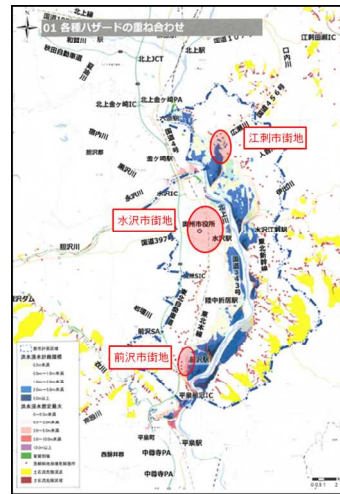
【公園貯留（維持管理が容易で安全性の高い防災調整池）】
○現在建設中の盛岡南公園野球場（仮称）に排水調整池を整備し流出抑制を図る。通常時は駐車場として活用。



矢巾町

【田んぼダム実証事業に係る現地説明会開催】
○流域治水対策として、内水氾濫等に効果があるとされる田んぼダムの取組みについて、実証圃による現地説明会を行い、農業従事者の理解と協力の促進を図る。
○令和3年7月29日（木）町内園場にて開催。

被害対象を減少させるための対策



奥州市

【災害リスクを考慮した立地適正化計画の策定】

○立地適正化計画で定める誘導区域を設定するにあたって、各地域の災害リスクの分析、リスクの回避、軽減に向けた対策を検討する。令和3年度は東北地方整備局建設部都市・住宅整備課の支援を受け防災指針案の作成作業を進めている。

【現状】

- 誘導区域の設定を検討している区域が、ハザードエリアとなっている。
- 江刺、前沢地域において、市街地の大半が浸水想定区域内となっている。

【検討内容】

- 浸水被害等のリスク分析・課題の抽出
- 立地適正化計画と防災指針の整合について
- 災害リスクの回避・軽減に向けた事業について

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策



一部様式の検討や作成を行う「実践方式」による講習



避難経路の検討状況

国、岩手県、各市町
【要配慮者利用施設等の「避難確保計画の作成」及び「避難訓練」の促進】

○市町村毎に対象となる要配慮者利用施設の管理者を集め、河川事務所・市町村担当者の参画のもと講習会形式で計画作成を実施。

北上川水系流域治水プロジェクト【流域治水の具体的な取組】

北上川下流

～東北一広大な流域と上下流の特徴的な地形特性を踏まえた河川整備と森林や農業等を活用した治水対策の推進～

戦後最大洪水等に対応した河川の整備（見込）



整備率：60%

（概ね5か年後）

農地・農業用施設の活用



11市町村

（令和3年度末時点）

流出抑制対策の実施



15施設

（令和2年度実施分）

山地の保水機能向上および土砂・流木災害対策



治山対策等の実施箇所 31箇所
（令和3年度実施分）

砂防関係施設の整備数 1施設
（令和3年度完成分）

立地適正化計画における防災指針の作成



0市町村

（令和3年12月末時点）

避難のためのハザード情報の整備



洪水浸水想定区域 33河川
（令和3年12月末時点）

内水浸水想定区域 2団体
（令和3年11月末時点）

高齢者等避難の実効性の確保



洪水 1198施設
避難確保計画 土砂 142施設
（令和3年9月末時点）

個別避難計画 集計中
（令和4年1月1日時点）

被害をできるだけ防ぐ・減らすための対策

【水田貯留の推進】



大崎市古川千刈江地区（堰板設置式、説明看板設置）

○「田んぼダム実証コンソーシアム設立（R3.6.14）」

（宮城県、大崎市、色麻町、加美町、涌谷町、美里町）
令和3年度から令和5年度までの3か年、大崎市千刈江地区において、「田んぼダム導入促進・効果検証モデル事業」として、堰板設置型の田んぼダムとスマート田んぼダムを設置しその効果の検証を行っています。

○ 田んぼダム実証・普及ワーキング（R3.7.29, R3.11.4）



田んぼダム実証・普及ワーキングの開催状況

○ 啓発活動（出前講座）



古川第五小学校



古川南中学校



小牛田農林高校

被害対象を減少させるための対策

【宅地嵩上げ・高床化の支援】



着工前



完成

盛土

『水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫』

- 浸水の実績区域や浸水の想定される区域に現存する建築物に対して、嵩上げ、高床化等の工事費を助成する。
- 大崎市では、立地適正化計画に定める居住誘導区域内において、浸水被害を軽減するため、一定の要件を満たした対象区域内の住宅の所有者が行う宅地の嵩上げ等に要する経費について、予算の範囲内で補助金を交付する。

被害の軽減、早期の復旧・復興のための対策

【要配慮者利用施設の避難確保計画作成の推進】



要配慮者利用施設の避難確保計画作成講習会

『避難体制等の強化』

- 要配慮者利用施設の管理者の避難計画に係る理解向上を図り、計画の作成を支援する。
- 大崎市は、「要配慮者利用施設の避難確保計画作成講習会」を開催しました。今回の講習会の対象施設は、市内各学校・幼保育施設とし、水害等の災害が発生するおそれがある場合に、円滑かつ迅速な避難の確保を図るため避難確保計画を作成する。

- ◆ 開催日時：令和3年10月13日（水）
- ◆ 開催場所：大崎市消防本部
- ◆ 参加人数：36名